

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部24円 昭和56年4月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.326



水ぬるむ春

めぐりくる季節の風物詩、白魚
とりや貝ほりが始まりました。
そこには、豊かな自然に恵まれた
美しいふるさとがあります。

(写真は、山代町浦の崎にて)

'56

4月

昭和56年度重点施策

産業と文化が創る新しいまちづくり

竹内市長所信を表明

昭和56年第1回定例市議会は3月10日から27日まで開かれ、昭和55年度補正予算案をはじめ、昭和56年度一般会計予算案など38議案と1諮問案が審議され、総合計画案が継続審議となったほかは可決されました。市長は、開会にあたり昭和56年度一般会計予算144億6,000万円の内容と市政についての所信を述べました。

以下、そのあらましをお知らせします。

特色あるまちづくりで 住みよい郷土を目指す

着々と進む

地方定住への条件整備

昨年は、80年代の幕あけとして、私は、「地方の時代」の到来に大いに期待し、伊万里市としても地域発展のキッカケをつかむ努力を重ねてまいりました。しかしながら、ご承知のとおり最近の国際情勢は、政治的緊迫感が高まり、またアメリカ、ヨーロッパ諸国からの強い輸出規制や中国宝山製鉄プラントの契約破棄問題、さらには地球を取りまく異常気象による世界穀物

事情の深刻化など国際社会における政治、経済情勢は、刻一刻と複雑さと不安の度を高めている感じがいたします。

一方、国内的には、政権の安定は見たものの、国家財政の危機的状況のなかで、軒並み政策は後退し、安定さを欠いているのが実情であります。本市においても、これらの影響を受け補助金や公共事業の削減をはじめわれわれの地域にとっての幹線である国鉄松浦線の廃止問題など地方振興とは相反する政策があい次ぎ、さらには冷夏、長雨



▲市議会で所信を述べる竹内市長

による農家経済への大きな打撃これに伴う商業の不振、木材、窯業界の不況等地方の時代の実現を阻む現象が現れてきています。しかし、反面では造船工業の順調な立ち上がり、伊万里工業団地の建設、佐賀厚生年金休暇センターの着工、商店街の近代化農業構造改善事業の進捗など地方定住のための条件が漸次整備されつつあります。

「自立自治元年」で 積極的な市政を

今や地方にとって、従来よ

遠征からは百里の道を人の計算できないような早さでかけ戻って明智勢を亡ぼしたり、いつも人の意表に出る「精いっぱい」を尽くした。私の前に野口校長先生の式辞があったが、心あたったまる教訓の中で「重荷を負って一里を伴せよといわれたらもう一里サーピスでゆけ」というローマの奴隷の話がされた。

この「もう一里」こそ「精いっぱい」の「精」にあたるところで私の話と符節があい非常に嬉しかった。

さらに式を終わって校長室に帰ってくると目の前の壁に、波多津小学校の校舎の景色とともに右上に「精いっぱい」と書かれた色紙が掲げてあった。

承ると野口校長先生が、卒業生の一人一人にそれを書いて渡されたそうで、私もその壁の色紙を記念にいただいた。

わずか二十五名という卒業生の激減ぶりには寂しい思いがしたが、そのかわりに卒業生の一人一人が「精いっぱい」を身につけてくれれば将来は何倍かの力になると大きな期待をもった。

(竹)

うに中央依存、中央志向のみでは、その真の発展を図ることは困難であり、自らの知恵と努力によって所得を増やし、財源を確保する方途を講ずることが大切であります。

私は「地方の時代」という言葉に甘い期待を抱くことなく、自立できる経済基盤、行政基盤を確立したいと考えており、本年を「自立自治元年」として、今後の市政に積極的に取り組む決意であります。

真の「地方の時代」とは、80年代における確かな都市づくりをめざして、市民自らの手によって、住みよい郷土を創りあげていくことであり、安心して働ける都市・住むに値する都市・人びとに安らぎを与え、心を豊

かにする都市を実現することにあります。これからの都市づくりは、これまでのような画一的な都市づくりでは、時代の要請に應えることは出来ません。

総合計画の改定で

21世紀へ足固め

それぞれの都市には、地方特有の文化や風土、人情があり、その地方の良さを十分に生かした都市づくりこそ、これからの都市づくりとして要請されるものであります。

その意味から本市がもつ地理的条件や歴史的條件は、その大きな素材であります。その素材を十分に生かすためにも私たちは、既成の観念にとらわれるこ

となく、今一度、伊万里市を見つめなおし、産業、文化、福祉などあらゆる面で郷土を熟知し新しい発想によって伊万里市の建設を進めていく必要があります。かかる観点から、伊万里市総合計画の改定を行い「21世紀への足固め」として、80年代における伊万里市建設の方針を確立したいと考えているところであります。

まちづくりの五つの柱

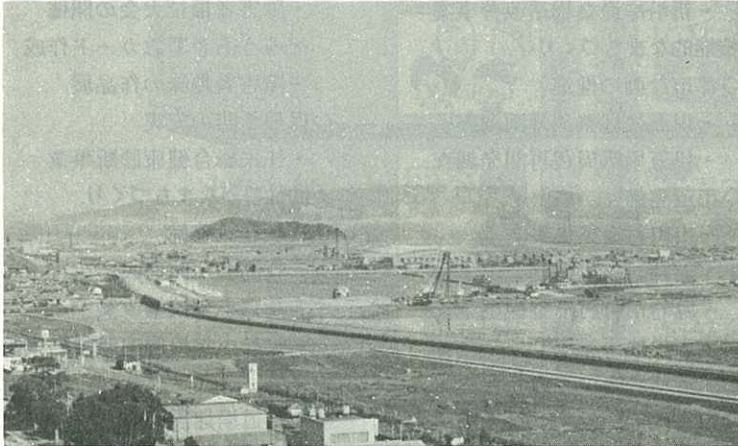
私は、市政担当以来、物心ともに豊かな伊万里市を築くためあらゆる努力を重ねてまいりましたが、総合計画の改定を機に

- 豊かなくらしを支える
- 活力あるまちづくり
- 中核都市にふさわしい機能的なまちづくり
- 健やかで安全なくらしができる明るいまちづくり
- 人間性豊かな市民を育てるまちづくり
- 市民と行政が一体となったまちづくり

に最善の努力を傾注する決意であります。

企業誘致に全力

特に本年度の重点施策として、まず、企業誘致に全力で取



▲着々と進む伊万里工業団地造成

しかも秀吉の「精いっぱい」はただの「精いっぱい」ではない。人なみでは「いっぱい」にすぎず、「精いっぱい」と「精」がつくからには人のできないところをやりとげることが大切で、秀吉は誰もやれないような一夜で城を築いたり、中国

どんな祝詞にしようかと考えていたら、校訓の「精いっぱい」が目にとまった。そこでこういう話をした。むかし、豊臣秀吉は岐阜の片田舎の百姓から身を起こして天下を統一し、当時から人身をきわめるといわれた「太閤」までなったが、その秘訣はこの波多津小学校の校訓にある「精いっぱい」が信条で、草履とりの時は草履とりで、一国一城のあるじのときはあるじとして、その時々々に「精いっぱい」を尽くしてきたからである。

今年には波多津小学校の卒業式にお祝いに行くことになった。



り組む所存であり、エネルギー関連産業の導入など国家的プロジェクトにも対応していきたいと存じます。

また、若年層の定着と教育文化の振興を図るため、短期大学の誘致を推進いたします。

さらに、本市の新しい目玉となる佐賀厚生年金休暇センターの建設を促進するほか、歴史文化遺産や自然景観を生かした名所づくり、やきもの、フルーツ

にとどまらない新しい特産品づくりなど伊万里市が持つ優れた資質を掘り起こして特色のあるまちづくりを進めたいと考えております。

なお、本年は国際障害者年であり、社会福祉の原点に立ちかえって、障害者の職場づくりや社会参加の促進を図るための施策を展開していきたいと存じます。



▲機能的なまちをめざして

主 な 施 策

活力あるまちづくり

◇工業の振興

- ・企業誘致の積極的推進
- ・不況対策（地域経済振興対策の活用）

◇商業の振興

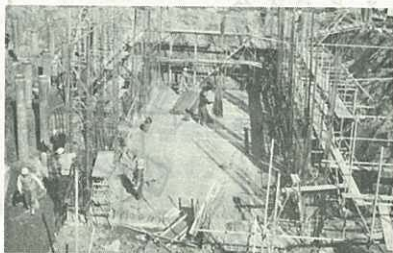
- ・市融資制度の充実
- ・商工春まつり

◇観光の振興

- ・伊万里富士千本桜（腰岳）
- ・松浦川のほとりにホテルを

◇農業の振興

- ・農用地利用増進事業
- ・国営総合農地開発事業の体制づくり
- ・生産基盤の整備
- ・新農業構造改善事業
- ・うまいみかんづくり
- ・肥育牛生産一貫体系の確立



▲建設中の環境センター

◇林業の振興

- ・新林業構造改善事業
- ・林道網の整備

◇水産業の振興

- ・新沿岸漁業構造改善事業

機能的なまちづくり

◇都市計画の推進

- ・川北地区整備計画調査
- ・伊万里駅周辺再開発調査

◇市道整備

- ・市町村道整備事業
- ・過疎対策事業
- ・臨時市町村道整備事業
- ・市単独事業
- ・道路台帳の整備

◇市営住宅建設

- ・大久保改良住宅（30戸）
- ・片竹市営住宅

◇環境整備

- ・環境センター建設

◇都市開発事業の進展

- ・街路事業（八谷堀～上伊万里駅線）
- ・公共下水道（終末処理場護岸埋立工事）
- ・公園整備（国見台公園、今町児童公園整備事業）

健やかで明るいまちづくり

◇市民福祉の充実

- ・北部老人憩いの家建設

<国際障害者年推進事業>

- ・障害者福祉大会の開催
- ・ろうあ者緊急カード作成
- ・障害者趣味の作品展

◇保健予防の充実

- ・住民総合健康診断事業

人間性豊かなまちづくり

◇文教施設整備

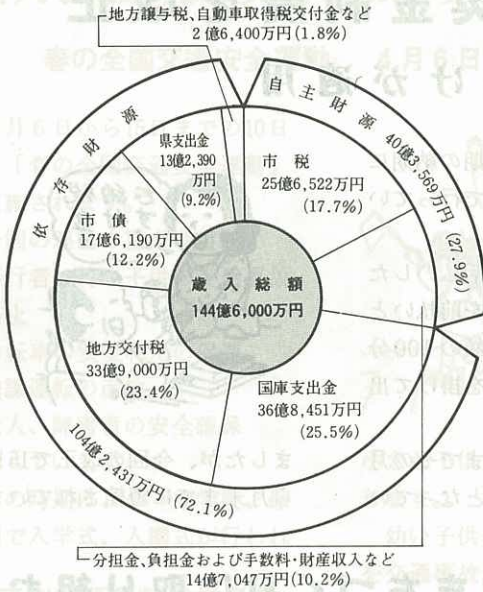
- ・牧島公民館建設
- ・滝野小学校増改築
- ・牧島小学校屋内運動場増改築
- ・弓道場建設
- ・滝野小学校食堂給食の実施

◇教育・文化の振興

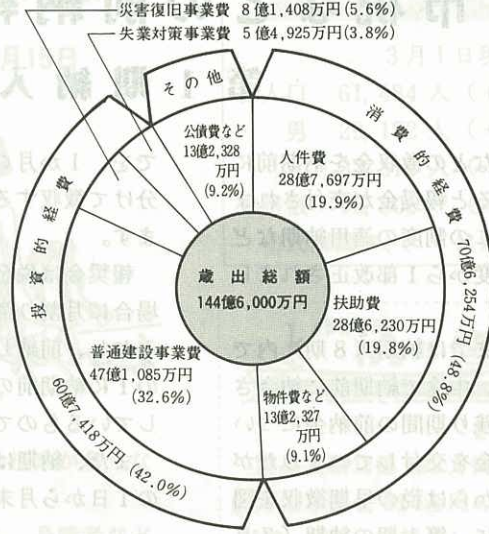
- ・短期大学の誘致
- ・スポーツ少年団県大会
- ・移動県展の開催
- ・山ノ寺遺跡調査
- ・民俗文化財地域伝承活動
- ・米飯給食の週2回実施
- ・こども芸術劇場
- ・成人教育の充実
- ・ボランティア活動の育成

昭和56年度 一般会計予算

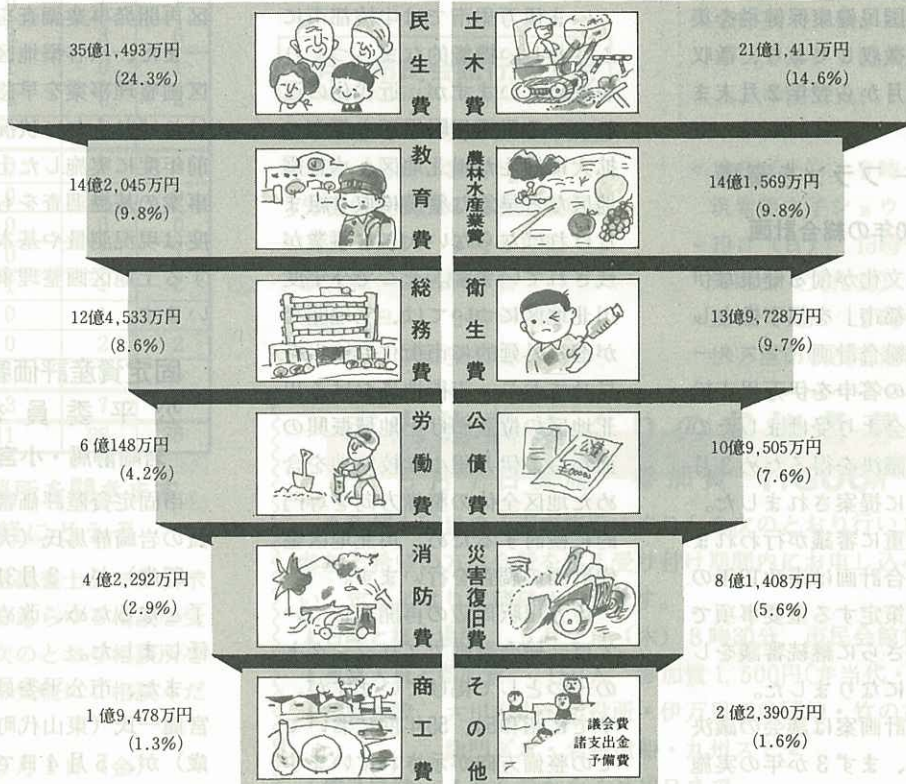
財源別の歳入割合



性質別の歳出割合



一般会計予算の使いみち



予算総額 144億6,000万円

市税などの前納報奨金制度を改正

第1期納入だけが適用

市税などの徴収金を納期前に納金すると報奨金が交付されますが、この制度の適用納期などが新年度から1部改正されました。

これまでは納期（8期）内であれば、途中で納期前に納金されれば残り期間の前納金について報奨金を交付していましたが今年度からは税の早期徴収を図るために、第1期の納期（7月15日から同月31日まで）に納めたものだけに限り報奨金を出すように改められました。

税金は、市民税、県民税、固定資産税、国民健康保険税を集合税として徴収しており、徴収の方法は7月から翌年2月末ま

で、1か月ごと8期の納期に分けて徴収する方式で行っています。

報奨金は税金を一括払いした場合に月割り徴収分を前払いとみなし、前納した税額の100分の1に納期前の月数を掛けて出しているものです。

また、納期はこれまでその月の1日から月末までとなってい



ましたが、今回の改正で15日から月末までに短縮されています。

機能的なまちづくりに取り組む

川北・伊万里駅周辺・八谷棚地区を整備

いま伊万里市では中核都市にふさわしい機能的なまちづくりを進めています。近代化の遅れている伊万里駅周辺や都市の拡大に備えた川北地区、八谷棚地区など早急な整備に取り組まなければならない大きな事業が残されています。そこで今年度川北地区については、宅地開発が進み外延的に市街地の拡大を見せており、市街地における川北地区の位置づけと地域振興の面から、伊万里小学校跡地を含めた地区全体の整備方向を専門的に検討するため、川北地区整備計画の調査を行います。

伊万里駅周辺の再開発については、総合計画でプロジェクトの一つとして掲げていますが、すでに昭和54、55年度においてその整備方向が示されていますので、これをもとに事業実施の方策を検討する伊万里駅周辺地

区再開発事業調査を行います。

また、八谷棚地区では、土地区画整理事業を早急に実施しなければならない状況にあるため前年度に実施した土地区画整理事業の基礎調査をもとに、本年度は現況測量や基本計画を作成する土地区画整理事業調査を行います。

固定資産評価審査委員 公平委員を選任

岩崎静馬・小宮龍一氏

市固定資産評価審査委員会委員の岩崎静馬氏（大川内町市山＝67歳）が、3月31日で任期満了となるため、改めて同氏を再任しました。

また、市公平委員会委員の小宮龍一氏（東山代町大久保＝69歳）が、5月4日で任期満了するため、同氏を再任することで可決されました。

マスタープランを審議

市政10年の総合計画

「産業と文化が創る健康な伊万里湾中核都市」を都市像とした伊万里市総合計画（マスタープラン）案の答申を伊万里市総合計画審議会より受けましたので、議会の議決を得るため3月定例市議会に提案されました。議会では慎重に審議が行われましたが、総合計画は市政10年の計画方針を策定する重要事項であるため、さらに継続審議をしていくことになりました。

この総合計画案は議会の議決を得たあと、まず3か年の実施計画をつくり、マスタープランの具体化を進めていきます。

新入学(園)児を交通事故から守りましょう

春の全国交通安全運動 4月6日～4月15日

4月6日から15日までの10日間、「春の全国交通安全運動」が実施されます。

今回の運動の重点項目は

- ・歩行者、特に子供の交通事故防止
- ・自転車の安全利用の促進
- ・無謀運転の追放
- ・老人、障害者の安全確保となっています。

この時期は、小・中学校、保育園で入学式、入園式が行われ

地区別飲酒運転検挙者数

(S56.2.28伊万里警察署調)

地区名	1月	2月	累計
伊万里	0	1	1
大坪	3	3	6
牧島	1	0	1
立花	2	0	2
大川内	0	1	1
黒川	0	3	3
波多津	0	0	0
南波多	0	0	0
大川	0	1	1
松浦	1	1	2
二里	0	1	1
東山代	0	2	2
山代	1	5	6
市外	3	7	10
計	11	25	36

登記相談所を開きます

お気軽にどうぞ

県土地家屋調査士会では表示登記に関するあらゆる相談を受けるため、次のとおり相談所を開きます。お気軽にご相談ください。

- ▲日時 5月1日(金) 10時～15時
- ▲場所 市役所市民相談室



小さな子供たちの往来が多くなります。

幼い子供や老人、身障者などを交通事故から守るため、市民1人ひとりが正しい交通ルールとマナーの実践に努め、市内から交通事故を撲滅しましょう

4月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 免許更新時講習
- ・6日(月) 10時～15時 労働保険制度の法改正説明会
- ・7日(火) 9時～17時 新入社・店員研修会
- ・12日(日) 9時～12時 老人クラブ慰安演芸

市の人口

3月1日現在

総人口	61,484人 (+67)
男	29,172人 (+37)
女	32,312人 (+30)
世帯数	16,806 (+21)

市民課調べ、()は前月比

伊万里港 たいり

2月

貿易実績12億192万円で前月比3億2,014万円の増。

【輸出】 実績なし

【輸入】 12億192万円

【船舶の入港】 12隻 (日本船3、外国船9)

【寄港地上陸許可者数】 267人 (フィリピン128人、インドネシア53人、韓国53人、中国31人、ドイツ2人)

- ・18日(土) 9時～21時 筑紫美主子ショウ
- ・19日(日) 13時～17時 舞踊会(文化堂)
- ・28日(火) 9時～17時 伊万里市戦没者追悼式

市内施設めぐりの参加者募集

5月7日実施 参加費 1,500円

今年第1回目の「市内施設めぐり」を次のとおり行います。参加ご希望の方は会費を添え受け付け期間内にお申し込みください。定員になり次第締め切ります。

- ▲日時と集合場所 5月7日(木) 8時30分 市民会館集合
- ▲募集人員と参加費 150人 参加費1,500円(弁当代・バス代)
- ▲視察施設 大川内山・市役所・伊万里工業団地・竹の古場公園 龍門ダム・名村造船・九州スミセ
- ▲申込受付 4月6日から4月18日まで
- ▲申込先 市役所総務部秘書課 (☎③2111 内線408)

あなたと考える

そこに生まれ、そこに育ち、生活するふるさと——それは、私たちだけのものではありません。

私たちの子供や孫へと引き継がれ、さらに発展させていかなければなりません。今、市では郷土をあらためて見直し、「特色あるふるさとづくり」を提唱しています。これからのふるさとの姿について皆さんとしっかりと考えてみましょう。

古い伝統と新しいまち

産業の発達や都市化の進展は全国に画一的なまちづくりを浸透させ、地方のもつ個性を失なわせてきました。しかし、今日では、大都市中心の考え方から地方都市を見直す傾向にあり、全国各地で特色づくりが進められています。これは、地域に個性と魅力を創り、地方定住を促すものです。

幸い本市には、四季折々の美しい自然や温かい人情があり、古い歴史と伝統があります。

また、秘窯の里、大川内山の色鍋島や松浦党の山ノ寺遺跡が

あり、トンテントン祭りや浮立大念仏などの神事、民俗芸能があります。そして、それは特色あるまちづくりの貴重な素材でもあります。

一方、市街地は、カラー舗装の近代的な商店街に生まれ変わり、伊万里湾には、工業団地の造成が着々と進展し、生活環境や生産基盤の整備が進められて

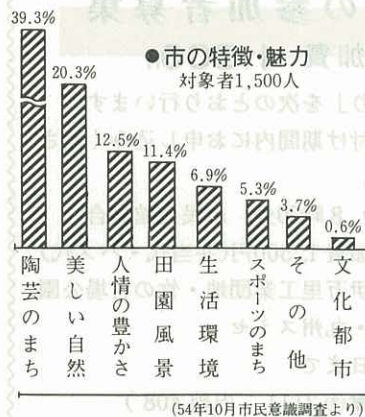
います。
——古い伝統と新しいまち——
この我がまちをさらに魅力あるふるさとにしていくには、地域に根ざした産業なり歴史文化を生かして、市民の手づくりによるまちづくりや人情味ある人づくりが必要です。本当のふるさとづくりは、市民全部で考えていくなから生まれるものです。

特色あるふるさとづくり

市民のアイデアを

魅力ある地域社会の条件は、まず心が通い合う住み良い社会です。このため善意のまちづくりや社会総健康運動により、地域の連帯感を取りもどし本市独自の心豊かなふるさとづくりを展開しています。

また郷土の発展を図るためには、各町ごとに名所、名産づくりを展開する一町一特産品づくりなど、地域の特性を生かしたふるさとづくりを行い、郷土「伊万里」の名を高めることも必要



手づくりの山車で復活した地蔵祭り(大川町)

ふるさと

キャンペーン
シリーズ No.31

豊かなまちをみんなの手で

ふるさとを住みやすく、人がつどい、物が集まり、より豊かに暮らせるまちにするには、足元の一つ一つに目を向けて、掘り起こし、そして見直していくことにより、そこにこれからの伊万里の姿が浮き彫りにされます。自分の住む町に誇りを持ち、ふるさとを愛する気持ちが、地域発展の大きな原動力となります。

手づくりの村を開村

鶴田芳朗さん(大川町山口)



私の村では、昔、永楽社という舞台があり、芝居の興行の時など村中総出で楽しむ風習がありました。しかし、最近は農家も出稼ぎやサラリーマンが多くなり、村中で集まる機会も少なく、昔ながらの近所づき合いや仲間意識が薄れてきています。そこで明るく楽しい活力ある村づくりをめざして、昨年10月公民館横に手づくりの村を開村しました。これは、老人や子供が安心して遊べる遊具施設や運動場をつくるため資金を募り、部落総出の奉仕作業により完成したものです。これらの活動を通して、外にたよるのではなく、

自分達の手で生活や生産環境を守っていくという意識が強まり協調心や連帯感を深めることができました。

いつの時代にも、私は、ふるさとの美しい田園風景と人情だけは失ってはならないと思います。

各町に特産品を

山下恵美子さん(南波多町重橋)



私達が旅行へいくと、特産品をおみやげに買って帰ります。伊万里ではフルーツと焼き物は有名ですが、他に名産らしいものはあまり思い浮かびません。しかし、私の古里の重橋地区には古くから手すき和紙が作られ、私も幼い頃に手伝った記憶があります。また、東山代の日南郷にはおいしいお茶があります。このほかにも、まだ各地域にたくさんあると思います。

そこで各町に特産品づくりを奨励し、特色のあるまちづくりを進めたいと思います。

特色づくりは、その地域の産業や歴史、文化、風土に根ざした地方色の豊かなものが親しみやすいと思いますが、新たに地域のみんなの力で創り出すことも意義があると思います。

この特色づくりで、全国的に伊万里の特産が広まったらいいですね。



あなたもアイデアを出してみませんか。
(市役所まで③2111)

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その27～

団地にひびく、火の用心

夜回りを続ける名村団地の小学生

黒川町名村団地に住む小学生3人が、毎日夜回りをして「火の用心」を呼びかけ、近所の人から感謝されています。

この3人は、伊藤京平君（黒川小5年）、佐々木浩二君（同6年）、重田敏之君（同3年）で、夜8時になると伊藤君の家に集まり、手に手に拍子木を持って団地の中を回ります。

夜回りを最初に思いついた伊藤君は昭和53年に消防署が募集した「市民防火のつどい」のポスター展で入賞したのがきっかけとなり、自分たちでできる何か人のためになる事はないかと考えて、佐々木君や重田君をさそい、火の用心の夜回りを始めたものです。

三日坊主になるくらいなら初めからしないほうがいいと言わ

れて、負けん気でがんばり続けもう2年以上も毎日続けています。

今では近所の人たちも、拍子木の音を聞くと自然に火元を点検するようになりました。

伊藤君たちは「近所の人々が、ご苦労さんと声をかけてくれると元気がでできます」と話してくれました。



▲拍子木を打ちながら団地の中を回る3人

清潔なまちを自分の手で

ごみ拾いに励む新天町の中学生グループ

自分たちの住む地域を自分たちの手できれいにしようと、中学生が道路沿いに捨てられたゴミを拾い集めています。

この中学生たちは、新天町に住む伊万里中学校生、男女25人（リーダー、河島潤、前田利光君）で、新天町公民館周辺のゴミを拾っているものです。もとも

と5～6年前に草むしりから始まった活動ですが、今では最も効果の大きいゴミ拾いに変え、毎月第1日曜の早朝に実施しています。ゴミの中では空きかん類がやはり多く、ゴミ袋で10袋ぐらい集まるとのことです。

中学生が地元で奉仕活動をするのは、学校の方針でもありませんが、河島君は、弟の稔君（大坪小6年）とも近所のゴミを拾ったりします。

河島君や前田君は、卒業しましたが、「これからは後輩の中学生にこの活動を引きついで、続けていってもらいたい」と話してくれました。



▲道路のゴミ拾いをする新天町の中学生



◀ 春の火災予防防火訓練の実施(3/6)
 備えあれば憂いなし、近代装備のはしご車による
 防火訓練も行われました。



▲ 国見台で“市民体力づくり大会” (3/6)
 オリエンテーリングに興じる子供たち、このほか腰岳
 へのハイキング、ゲートボール、ジョギングに約 1,200
 人が参加しました。

いま伊万里で



▲ 卒業記念に校内を美しく (3/13)
 立つ鳥跡をにごさずと、南波多中学校の
 卒業生は、校内の美化活動に励みました。



▶ 市内各地で卒業式
 小学校九百四名、中学校八百六十名が通い
 なれた学びやを巣立っていきました。
 (3/19 二里小で)



▶ 子供の遊具手作り教室開催 (3/11)
 はじめての竹馬もごらんのとおり、山代西
 小学校で子供たちの手による竹馬づくりが行わ
 れました。



▲ 市の現状と未来について座談会が開かれ
 ました。 (3/19)

市民交通傷害保険に加入しましょう

保険料は年額480円(1口)

万一の交通事故に備え、少ない保険料で加入できる「市民交通傷害保険」の加入をおすすめします。

昨年は17,306口の加入があり給付対象となった傷害50件について220万5,000円が支払われました。

▲保険料(1人2口まで加入可)

- 1口……480円(年額)

ただし、1級、2級の身体障害者、療育手帳Aをお持ちの精神薄弱者は1口360円(差額は市で援助)となります。

▲保険期間 昭和56年5月1日

危険物取扱者の試験案内

— 受付4月6日～10日 —

▲試験の種類

- 乙種第4類危険物取扱者試験
- 丙種危険物取扱者試験

▲日時と場所

5月17日(日)午前9時から
県立佐賀東高等学校

▲申込先

佐賀県消防防災課(〒840佐賀市城内1-1-59)

▲問い合わせ先

市消防本部予防課危険物係
(☎③4311)

- 願書、案内書は消防本部、東分署、西分署にあります。
- 試験に先だち、市危険物安全協会主催の準備講習会が次のとおり行われます。

▲日時 5月6日・7日

9時30分～16時

▲場所 市役所大会議室(4階)

から昭和57年4月30日まで(期間内に市外転出しても保険は有効です)

▲支払われる保険金

- 死亡の場合……80万円
- 事故により終身自由を果たすことができない時……50万円
- 治療期間に応じて5,000円から12万円の保障があります。

▲申込方法

○市役所市民課、各出張所、市税取扱い金融機関の窓口で受け付けます。印鑑、保険料、申込書をご持参ください。

○1級、2級身障者、療育手帳A所持者は窓口到手帳を提示してください。

○申込用紙は4月上旬、駐在員(区長)さんを通じて家庭に配布します。

※お問い合わせは市民課窓口係または各出張所へ。

献血にご協力ください

4月9日・ユニード前

献血はからだの健康診断です。採血前に医師の健診があり、採血不適の場合は栄養指導も行われます。

万一の時にそなえ、助け合いの心で献血をお願いします。

▲日時 4月9日(木)

10時～15時

▲場所 ユニード前駐車場

※採血は昼休みも行われます。

すでに、10回、20回以上献血された方には知事の感謝状が贈られますのでお申し出ください。

特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員と法務局職員が相談をお受けします。

▲日時 4月21日 10時～15時

▲場所 市役所市民相談室

▲担当 人権擁護委員

水上房代氏

新入学の準備はできていますか

新入学への期待と希望に大きく胸をはずませる子供たち

その喜びは、また親の喜びでもあります。のびやかな明るい第一歩が踏み出せるように、入学までの毎日を有意義に過しましょう。

◇早寝、早起きの習慣はできていますか

◇衣服の着脱など、自分一人ですみますか

◇自分の要求や考えがはっきり言えますか



◇通学の道順と安全の指導は十分ですか

しかるより励まして、子供に自信を持たせましょう。過保護は、子供の自立心をゆがめます。子供との対話の機会を多くして安らぎの心を育てましょう。

犬の登録と狂犬病予防注射

畜犬登録と狂犬病予防注射を次のとおり行います。(3月15日号からの続き)

▲料 金 登録料 2,000円
注射料 1,100円

▲日時と場所

- 4月 9:30~10:00 滝川内公民館
- 14日 10:30~11:00 大久保公民館
- (火) 11:30~12:00 東山代公民館
- 13:00~13:30 脇野公民館
- 14:00~14:30 長浜公民館
- 15:00~15:30 中里農協倉庫前
- 15日 9:30~10:00 大里公民館
- (水) 10:30~11:00 川東家畜市場
- 11:30~12:00 東八公民館

- 13:00~13:30 元町公民館
- 14:00~14:30 西円公民館
- 15:00~16:00 中央公民館
- 16日 9:30~10:00 漁港公民館
- (木) 10:30~11:00 中通農協倉庫前
- 11:30~12:00 木起神社
- 13:00~13:30 木須東公民館
- 14:00~14:30 大坪公民館
- 15:00~15:30 古賀公民館
- 17日 9:30~10:00 市村公民館
- (金) 10:30~11:00 正力坊公民館
- 11:30~12:00 平尾公民館
- 13:00~13:30 下分公民館
- 14:00~14:30 松浦公民館
- 15:00~15:30 中通公民館

上記の期日に受けることができなかった場合

- 4月 9:30~10:00 西部農協倉庫前
 - 20日 10:30~11:00 山代公民館
 - (月) 11:30~12:00 楠久公民館
 - 13:00~13:30 東山代公民館
 - 14:00~14:30 二里公民館
 - 15:00~15:30 中通農協倉庫前
 - 21日 9:30~10:00 波多津公民館
 - (火) 10:30~11:00 黒川公民館
 - 11:30~12:00 南波多公民館
 - 13:00~13:30 大川公民館
 - 14:00~14:30 松浦公民館
 - 22日 9:00~10:00 中央公民館
 - (水) 10:30~11:00 平尾公民館
 - 11:30~12:00 大坪公民館
 - 13:30~14:00 立目公民館
 - 23日 13:00~14:00 市役所裏車庫前
- ※お問い合わせは市環境衛生課(☎③2111 内線289)へ。

- 次の方からご寄付をいただきました。
厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ◆社会福祉事業費へ
- 川崎真己(亡妻亭 立花町東円)
 - 川崎敬三(亡父定市 東山代町大久保)
 - 吉永孝一(亡父栄次 二里町中里)
 - 吉原良輔(亡母トヨ 山代町向山)
 - 西山マサヨ(亡母シゲ 山代町久原)
 - 出雲 競(亡母リツ 山代町東分)
 - 徳田隆利(亡母ミチ 松島町)
 - 王 武広(亡父聖泰 二里町大里)
 - 池田安雄(亡妻クマ 大坪町下古賀)
 - 金子シマ子(亡夫幸雄 山代町東分)
 - 柴原シナ(亡夫愛助 東山代町里)
 - 平川鹿一(亡母カズ 東山代町川内野)
 - 中島善幸(亡母ハル 立花台三丁目)
 - 杉原 晃(亡母イサ 松浦町宿分)

労働保険制度改正の説明会

伊万里労働基準監督署は、労働保険制度の法律改正に伴う保険給付の改善内容や年度更新手続きについて次のとおり説明会を行います。

▲期日と時間 4月6日(月) 10時~15時

▲場 所 市民会館大ホール

(製造業、販売事業など一般継続事業場は午前中、土建業、林業など一括有期事業は午後に行います)

- ◆体育振興奨励基金へ
- 一万円 中島絃一(新天町六五四)
 - 千円 丸田玲子(二里町大里 拾得金)
- ◆明るい町づくり推進資金へ
- 〔波多津公民館〕
 - 大崎一男(亡父賢助 波多津町浦)
 - 〔南波多公民館〕
 - 前田吉治(亡母ナル 南波多町笠椎)
 - 草場正義(亡母山口マサラ 愛知県春日井市坂下)
 - 〔松浦公民館〕
 - 五万円 樋渡サグ子(松浦町下分 病)
 - 〔二里公民館〕
 - 気見舞返し)
 - 五千元 嶋田 力(二里町東八)
- ◆市立図書館へ図書寄贈
- 秋吉郁子(大坪町白野)
 - 久保田正敏(脇田町脇田)



ありがとうございました

- 山口文一(亡母スマ 木須東)
 - 古賀アキ子(亡兄森川泉 東山代町大久保)
 - 前山喜佐一(亡妻キミ 木須東)
 - 三好シツ(亡夫金判龍 瀬戸町漁港)
 - 平川義道(亡父虎夫 二里町西八)
 - 勝野祐子(亡父虎雄 山代町久原二区)
 - 川原国男(亡祖母キチ 富士町)
 - 吉田 学(亡父二三男 山代町西分)
 - 中窪 忍(亡長男正三 黒川町名村団地)
 - 山口トミ(亡夫善市 大坪町白野)
- ◆篤志寄付
- 一三〇円 深見順治(大分県宇佐市)
 - 五千元 牧野敏昭(東京都)
 - チャンチャンコ三四着 市農協婦人部
 - 交通遺児救済資金へ
 - 一万円 松尾勝馬(黒川町福田)

こどものページ

期待される新しいエネルギー開発

海洋温度差発電

みなさんは海水の温度差を利用して電気をつくる日本で初めての「海洋温度差発電実験所」が、伊万里市にあるのをごぞんじですか。この実験所は黒川町の七ツ島工業団地内、名村造船所横に建てられ、佐賀大学の研究班が伊万里湾の海水を利用して発電の実験を行っています。海水は太陽で暖められた海の表面の水温に比べ、深い海の水の温度は低いので、その差を利用して電気を起こそうとするものです。その方法は海面の暖かい水でアンモニアやフロン（低い温度でも沸とうしガス化しやすい）などを蒸発させて、その蒸

気をふん射してタービンをまわして電気を起こします。ガスはパイプを通して深海から吸い上げた冷たい水で冷やして元の液体に戻し、また暖かい水で蒸発させタービンへ

とくりかえし発電するものです。

50キロワット発電に期待

海洋温度差発電実験所では昨年5月から発電の実験に入り、8月には700ワットの発電に成功しました。



▲伊万里湾の海水で発電実験をする佐賀大学の研究班

現在は、50キロワットの大型発電実験装置「伊万里2号」を取り付けて実験を行っています。担当の上原春男先生（佐賀大学）は「50キロワットの発電実験で連続運転が成功すれば実用化もできるよう

サンシャイン計画とは

エネルギー対策と無公害社会づくりをめざした新エネルギー技術開発で、太陽エネルギー、地熱エネルギーなどのテーマについて利用技術や製造技術の研究開発に取り組んでいます。

になります」と話しておられました。

この実験は、国の新エネルギー開発計画「サンシャイン計画」の一つとして、太陽エネルギー、地熱エネルギー利用などとともに期待がもたれているものです。海の水を利用した発電は、日本のように海に囲まれた島国ではいたるところに資源があり、火力発電のようにばい煙もなく、まったくの無公害の発電なのでクリーン・エネルギーとして注目をあびています。

この海洋温度差による発電が成功して実用化されると、日本が必要とする電力の半分は近海で軽くまかなえるといわれます。

一日も早く実験が成功して、あなたの家の電気も伊万里湾の海の水でつくられるようになるといいですね。

